

町長の改革日記

文化財フェア始まる

11月10日(土)から大治町文化財フェアが始まりました。オープニングセレモニーには、来賓として河村たかし名古屋市長を始め、ご協力いただいた名古屋市長や愛知県歴史編さん室長が臨席され、大治太鼓保存会による嫁獅子演舞で華やかにスタートしました。



●市長とともに文化財展を鑑賞

と、連日大盛況でした。また、12日(月)の大村愛知県知事の定例記者会見では「はるちゃん」の法被を着て文化財フェアのPRをしていただき、最終日の18日(日)には大村知事にも来ていただきます。ご協力いただいた所蔵者を始め、愛知県、名古屋市には大変感謝しています。

町内だけでなく、町外からも



●定例知事記者会見



たくさんお見えになられ、歴史のある大治町に大変興味を持たれていました。この町は、平安時代、松葉荘という荘園があり、702年創建の自性院(成願寺)、そして日本で初めて眼科治療をした明眼院(安養寺)など、大変栄えた歴史があり、文化遺産の宝庫です。来場された多くの方が身近に貴重な文化財があることに驚き、再発見できたことへの感謝の言葉をかけていただきました。町の歴史を知り、誇りと愛着を持つていただきたいと思えます。また、17、18日には松葉城跡と推測される場所の試掘調査に入ることから、大治の新たな歴史が発見されるものと確信しています。今後もこの大治が歴史ロマンあふれるまちとなるよう取り組んでいきたいと思っています。

11月4日(日)、社会福祉協議会と商工会の主催の「ふれあいフェスティバル2012」が開催されました。一番驚いたのは、



●ふれあいフェスティバル2012

91名もの中学生がボランティアとして運営に加わり、お手伝いをしていただいたことです。その積極的なボランティア精神に大変感動しました。私もドラゴンズOB小松辰雄氏や鹿島忠氏とのトークショーに参加し、大変楽しい時間を過ごしました。抽選会も大いに盛り上がり、終わりまで人が途切れることなく、充実したフェスティバルでした。来年もさらにスケールアップをしていけたらと思います。

大治町長

岩本好広